

Q 63 2001年1月に中央省庁が再編されるそうですが，文部省はどのようなになるのでしょうか？

A 文部省と科学技術庁が統合して「文部科学省」になります。

少子高齢化，国際化，高度情報化など急激な変化を遂げる中で，これまでは有効に機能してきた戦後型行政システムが制度疲労をおこし，また，縦割行政や組織の肥大化などの弊害が叫ばれるようになりました。

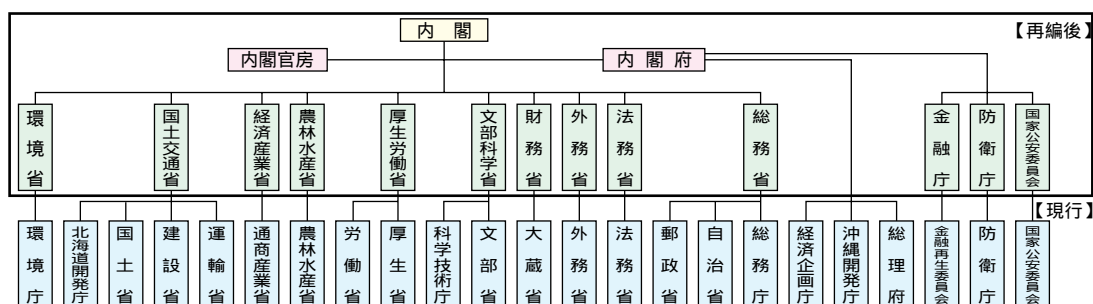
新しい時代に見合った簡素で透明，効率的な政府を実現するため，これまでの行政システムを根本から問い直し，内外の変化に機動的に対応できる行政システムづくりを進めていくため，中央省庁の再編をはじめとする様々な行政改革が進められています。

文部省と科学技術庁との統合

文部省が所管する学術行政は，大学を中心として，研究者の自由な発想に基づき，あらゆる学問分野にわたるボトムアップ型学術研究を推進してきました。

一方，科学技術庁が所管する科学技術行政は，科学技術の振興を図るため，主として，社会的，経済的にニーズに対応した研究開発を推進してきました。

最近では，基礎研究の重要性が高まるなど，両者の関係がより密接になってきているため，両省の統合により，学術行政と科学技術行政のそれぞれの利点を生かしつつ，総合的な学術・科学技術行政を推進することが可能となります。文部科学省で



(注) 現行から再編後への移行は主な事務の流れを示したものである。入事院等及び各省の外局は記載していない。

は，具体の組織においても，学術行政と科学技術行政を融合させた局編成を行うこととし，学術・科学技術の一層の総合化を図ることとしています。

文部科学省の組織

21世紀に向けて，我が国が創造力と活力のある国家として発展し，国際的にも積極的な役割を果たすためには，文部科学省において，

豊かな人間性の育成等を目指した教育改革の推進

学術及び科学技術行政の総合的，積極的かつ計画的な取組の強化と学術・科学技術研究の調和及び総合性の確保

文化行政の機能の充実等に取り組むことが重要です。

これを踏まえ，文部科学省の新たな任務は，「教育の振興及び生涯学習の推進を中核とした豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成，学術，スポーツ及び文化の振興並びに科学技術の総合的な振興を図るとともに，宗教に関する行政事務を適切に行うこと。」となりました。

文部科学省の組織編成

【1官房・7局・1官・1庁】

